

空手や茶道体験も

マリエタ高から生徒来訪

糸島高校（仲原英城校長）と交流している米力リリフォルニア州マリエタバレー高校の生徒六人と引率の教諭一人が十日から十七日までの一周間、前原市篠原の糸島高校を

訪れ、日本での高校生活を体験した。糸島高とマリエタバレー高は一九九七年から交流を始め、今までに六度ずつ訪問し合い、交流を重ねている。

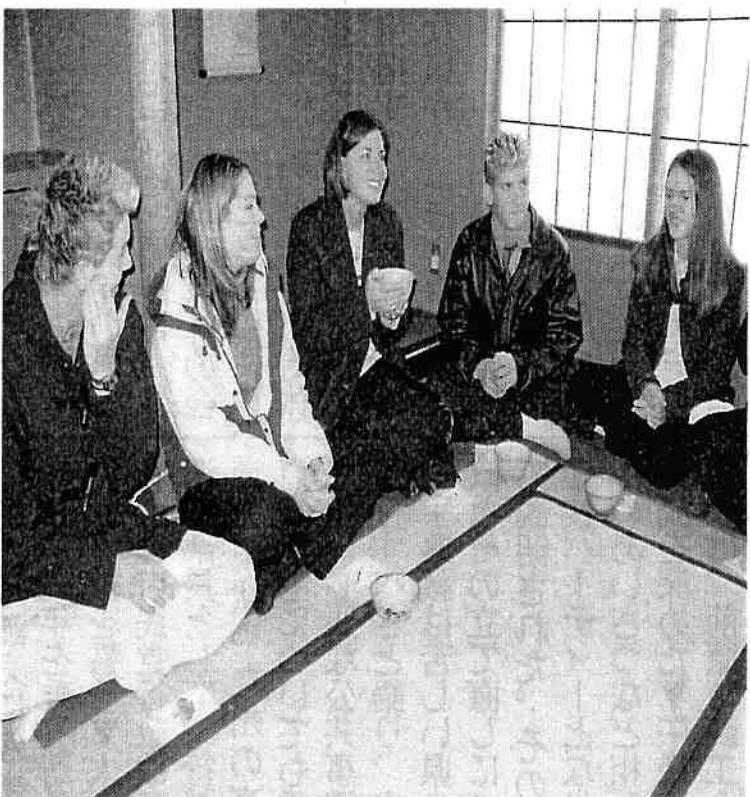
十一日には集会が開かれ、一行は全校生徒から歓迎を受けた後、国語や数学、歴史など一般の授業を受けた。

放課後には茶華道部の部活動に参加し、初めて茶道を体験。マリエタ高生徒会長のボー・ディダ君（18）は「泡がいっぱい立ってカプチーノみたい。健康になりそう」と少しひっくりしながらも、おいしそうにお茶を飲んでいた。

また一行は、前原南小の授業に参加したり、柔道、空手、書道を習ったりと、日本での生活を楽しかった。



マリエタ高生と糸高・仲原校長（中央）



茶道で日本の心を体験するマリエタ高生